

根羽村教育委員会 令和7年9月定例会会議録

○ 会議日時 令和7年9月18日（木）午後3時30分

○ 会議場所 根羽村役場 第1、第2会議室

○ 出席者 教育長：柳瀬賢司、教育長職務代理者：石原久明、委員：片桐光代、小澤寛樹、石原八重子、根羽学園校長：馬島高志、根羽保育所長：松下剛樹、事務局：石森智（総務学校教育係長）

1. 開会

2. 議事事項 なし

3. 協議事項

（1）親子留学説明会反省について

（教育長）今日は、今年度も半分にさしかかるので、根羽学園の校長先生と保育所長さんに学校と保育所の様子をお話いただくために出席をしていただいています。よろしくお願いします。それでは早速、親子留学説明会についてですが、参加は1家庭の4名でした。教育委員の皆さんと根羽学園の子ども達が6人きてくれました。現在来ている留学家庭も参加してくれました。次の事項についてご意見をお聞かせください。実施した時期はどうでしたか。

（委員）良いと思います。

（委員）学校の行事などを考えてもこの時期で良いと思います。

（教育長）日程はどうでしたか。時間は。

（委員）良いと思います。

（委員）順調でしたし、良いと思います。

（教育長）会場はどうでしたか。

（委員）良かったと思います。中心街ですし。

（教育長）実施内容はどうでしたか。

（委員）良かったです、来ていただいた人が少なかったですね。

（保育所長）資料をしっかりと作っていったのに残念でした。

（教育長）今回はパンフレットを増刷して、現在の留学家庭の方も安城市の地区回覧などで配ってくださったようですし、安城市内の保育所にも配置していただいたのですが、人数が少なかったのは残念でした。

（委員）3連休だったのがいけなかったのかもしれませんがね。

（教育長）来年は一週間ずらしましょうか。

（委員）最初は複式学級を解消しようという思いで動いていました。一時は全国展開しようという提案もしましたが、村として安城市に限定したいという思いが強かったので、安城市に限定していますが。

（教育長）今後も安城市に限定して行く方向で考えています。誰でも良いという訳にもいきませんしね。体験留学ですが、先方のご希望もあり、10月27日になりました。

（根羽学園校長）来入児ですので、体験は小学校を一日体験でよろしいかと考えています。2年生の女子は2年生の教室に入っていて、1年生がいないので、年長さんも2年生の教室で体験してもらいたいと思います。

（2）第2回ふれあいタイム反省について

（教育長）先日行ったふれあいタイムについて、事務局から反省をお願いします。

（事務局）先日のふれあいタイムですが、教育委員の皆様にもご参加いただきまして、2年生から9年生まで全員と一部の先生方と地域の方々とひも繋ぎゲームを行いました。進行に滞りなく、皆さん大いに盛り上がり、大成功だったと思います。チーム戦にしたことがよかったと思

っています。ただ、地域の方の参加が少なかったのが残念でした。時間も、最後に子どもたちに感想を聞いたりしたので、5分オーバーしてしまい、学校にはご迷惑をお掛けしました。申し訳ありませんでした。次回に向けては、まずは有意義な出し物の内容を考えることと、参加者を2年生から9年生全員にするのではなく、後期課程の生徒はこちらの運営側に入ってもらって、お手伝いをしてもらうということを考えたりですとか、一番の課題は、地域の方の巻き込み方だと思うのですが、広報の仕方をもっと工夫したり、社協等に声掛けを依頼したり、他のイベントとコラボしたりなど、色々考える必要があると思います。

（教育長）盛り上がったことは非常によかったと思います。事務局が頑張ってくれて、運営側も終わった後に満足した表情をしていたのでとてもよかったです。教育委員の皆さんも参加してみていかがでしたか。

（委員）地域の方が少なかったのは、授業参観とふれあいタイムの間が1時間空いてしまったのがよくなかったかもしれませんね。

（委員）授業参観は何人か来てくれていましたが、ふれあいタイムの参加者は少なかったですね。

（教育長）校長先生、次はいつ時間を作れますか。

（根羽学園校長）時間は作れると思いますが、たくさんの方に来ていただくには、来てくれた方には何かを差し上げますとかそういうことも必要なかもしれませんね。

（委員）学校の方も授業が1時間潰れてしまうかもしれませんが大丈夫ですか。

（根羽学園校長）1時間なら大丈夫ですよ。

（委員）社協の方に連れてきていただいたり、もう少し若い方にも来ていただけるといいですね。

（小澤寛樹、途中出席）

（根羽学園校長）10月はイベントが多いので、10月は難しいかもしれませんね。11月に郡市の音楽会があるので、それを聞きに来ていただくというのも一つかもしれませんね。それと学校の音楽会もありますね。

（教育長）それでは学校の方で日程調整をしていただきますが、今のところ11月17日か21日が良さそうですかね。

4. 報告連絡事項

（1）デュアルスクールについて

（教育長）根羽村の事業に携わっている方で、デュアルスクールという制度を使って、根羽学園に通うことを考えている方がいます。デュアルスクールの制度については、資料をご覧くださいと思います。

（資料に沿って説明）

住民票を置いたまま、他市町村の学校に通えるという制度です。東京の方なんですけど、半年東京の学校に通って、半年根羽学園に通うということもできます。

（委員）飯田市でも実施しているやつですかね。

（根羽学園校長）あれは特例校ですね。

（教育長）利用できる児童生徒は、資料に書いてあります。修学までの流れですが、手続き方法を教育委員会の方で作らなければならないようです。村長や教育委員さんにお聞きながら、進めたいとは思っていますが、根羽には制度がないので、研究しながら考えていかなければならないと思っています。受け入れる方向で考えたいと思っていますが、人員もタイトなので、どうしようかと考えているのが実状です。

（委員）根羽だと複式学級もあるので、その辺も大丈夫かという心配もありますよね。学校も大変になりそうですね。

（教育長）なぜデュアルスクール制度を使って通うことを選択するんですかね。

（根羽学園校長）冬の経験がないから、冬季に根羽で生活することが心配だと言っていました。

（教育長）母親はベトナムの方です。

（根羽学園校長）母親は日本の学校を出ています。芸術大学の修士まで出ています。東京の子どもとの交流だけでは、遊びがゲームだけになってしまうかもしれないと心配していました。自然の中での体験もさせたいようです。

（教育長）制度が村で整っていないと受け入れができないのかが不明です。松本市は制度を作ってやっているようです。この制度を始めると誰でも受け入れるということにはなりません。松本市は制度を作って何とか子ども達を呼び込みたいと思って始めたようです。

（委員）根羽は住民票がなくても村営住宅に入居できますか。

（保育所長）住民票がないと基本的には受け入れないと思います。

（根羽学園校長）デュアルスクール制度ではなくて、移住で来れば村は受け入れますよね。

（教育長）それは受け入れます。

（根羽学園校長）手続きが煩雑なので、引越しして来ればいいかなと思います。父親は東京に残るので、来てみて合わなければ戻る場所がありますので。学校としてはすぐにでも受け入れる体制はあります。

（教育長）根羽には制度がないので、住所を移して来てくださいということで教育委員の意見として村長に伝えたいと思います。

（２）学校の様子について

（根羽学園校長）現在、根羽学園では若杉祭に向けて、後期課程を中心に活動しています。６年生が社会見学で東京に行ってきました。昔は新幹線を使っていたことが分かり、今回は新幹線で行きました。バスの運転手の運転時間が制度的にシビアになり、時間が掛かってしまうことが分かったので、電車を利用していってきました。先生の負担が増えましたが、今年度は少人数でしたので、実現することができました。今後も新幹線での計画をしています。続いてトコトンですが、異学年の交流を増やしていくことを考えています。具体的には６年生から８年生合同での道徳、連学年での体育の授業を検討しています。先生方も他の学年の先生と一緒に授業ができるのも良い経験だと思っています。校長主導ではなく、先生方に案を出してもらっています。１０月からホームルームも学年を超えてやろうと思っています。廊下で広い場所があるので、そこでやろうかと考えています。先生ではなくて子ども達が主導でやることも考えていきたいと思っています。

（気になる子どもの姿については非公開）

（３）保育所の様子について

（保育所長）先日、学校との合同防災訓練を実施しましたが、子ども達の落ち着いた行動に成長を感じました。運動会ですが、暑さ対策で実施を９月から１０月にして、プール活動を１ヶ月伸ばしました。外部講師の方にプール指導もしていただいて、以上児はほとんど全員が水に顔をつけられるようになりました。泥遊びや稲刈りも外部の方にご指導いただいて実施することができました。子ども達も自分達で植えた稲ですので、稲刈りを楽しみにしていました。初めてやった子どもがほとんどでしたが、楽しんでやっていました。一時保育の体験ですが、２５日から２９日で行う予定です。女の子と遊ぶようで、先日来た時も同じ学年の女の子と手を繋いで遊んでいました。普段は大人数の園にいますので、集団行動がよくできて、年長さん全体で安定しそうな気がしています。母親の連絡帳からもプールや体験をととても楽しくできましたとの話がありました。もうひとつの家庭の体験ですが、田舎での体験をさせたいようです。しっかり生活はできていますが、周りの支援が必要なこともあるかもしれません。体験期間中、本人は「明日保育園！」と楽しみにしていたようです。

（委員）もうひとつのご家庭はどこの方ですか。

（保育所長）東京の方です。ひょうきんな面があるので、入ってくると新しい風が入って良い影響もあるのかなと思っています。

（委員）稲刈りはどうでしたか。

（保育所長）稲刈りも最後まで楽しんでいました。自分達でとったお米を親御さんたちと一緒に味わうという企画を考えています。

（根羽学園校長）学校も今日稲刈りでしたが、午後雨が降ったので、延期になりました。

（保育所長）畑体験もやっていて、畑は村内の方に貸してもらっています。

（保育所長）別のお話ですが、こども誰でも通園制度が来年度から始まります。簡単に言うと１か月１０時間まで入所できるというものです。預けられない母親が疲弊していること、子ども達が他の子と交流できないことなどの理由から開始されるものです。生後６か月から預けられます。

アンケートがあつて、実施しない回答している自治体もあります。受けられる保育士がいれば良いですが、体制が整っていない根羽にはそぐわないところもあるかと思っています。未満児はなかなか慣れずに一日中泣いていることが多いと思うので、周りの子ども達への影響もよろしくなかなと思っています。

5. その他について

(1) その他について

(教育長) 教育中間支援組織ですが、現在は一般社団法人のローカルイノベーションイニシアチブとねばのもりで受けていただき、教育のコーディネートをしてもらっています。来年度は他の受け入れ先等を検討しなければならないと思っています。ご承知ください。

(教育長) 他に全体を通して何かございますか。

(委員全員なし)

(教育長) 最後に8月分の会議録の署名をお願いします。

(8月定例会出席委員全員が内容を確認し、署名)

(2) 10月定例会教育委員会開催日 10月15日(水) 午後3時30分

6. 閉会

午後4時45分閉会

教育長・教育委員 署名